

フランス語の右節点繰り上げ構文における動詞のミスマッチ

白石 碧
(パリ第7大学大学院)

右節点繰り上げ構文は、省略箇所と先行詞の間に他の省略構文よりも厳しい同一性条件（音の同一性）が必要であるとされている。

- (1) a. Certaines agences ont déjà ~~fermé leurs portes~~ ou vont bientôt *fermer leurs portes*.
(Le Monde French Treebank)
b. * Certaines agences ont déjà ~~ouvert leurs portes~~ ou vont bientôt *ouvrir leurs portes*.

Pullum & Zwicky (1986)によると、右節点繰り上げ構文は *factorable coordination* であり、*factorable coordination* が可能であるのは、各等位項の要求が同じまたはミスマッチが *syncretism* (同形) によって解消される場合である。

しかし、フランス語の右節点繰り上げ構文には、(2)のように、音の同一性を持たない動詞のミスマッチが見られることがある。

- (2) La Confédération Paysanne a répertorié une trentaine de site de production à grande échelle qui ont ~~vu le jour~~, ou qui vont voir le jour en France.
(France Inter-2015/02/20)

コーパス調査と容認度のテストの結果は、音の同一性がフランス語の右節点繰り上げ構文において重要ではないことを示す。

動詞のミスマッチの分析として、以下のように提案する。

- (i) 各等位項の対立する要求は最終項の要求によって解消される。
(ii) 同一の語彙素を持つ要素を削除することができる。